室町時代

名前

問1　15世紀前後のアジア諸国との貿易において、九州の港町である博多が果たした役割や背景についての説明として、最も適切なものはどれか。（2025年 秋田県公立入試 類似）

1. 自由都市として栄え、種子島に伝来した鉄砲を大量生産する拠点となった。
2. 遣隋使や遣唐使の時代から、近畿地方にある唯一の対外貿易港として知られた。
3. 勘合貿易を独占的に管理するため、室町幕府が本拠地を置いた唯一の港であった。
4. 日明貿易の拠点として機能し、大陸の文化や物資が流入する窓口となった。

問2　12世紀後半から16世紀後半にかけての日本の建築や文化の変遷をまとめた記録において、慈照寺銀閣が造営された時代背景やその特徴を述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2017年 千葉県公立入試 類似）

1. 大陸との貿易による富を背景に、武家と公家の文化が融合した金箔を多用する豪華な様式で建立された。
2. 応仁の乱などの動乱が続く中、政治から退いた足利義政が隠居所として営み、自身の精神性を反映させた。
3. 戦国大名が自らの権力を誇示するため、天守閣を備えた壮大な城郭建築が各地に築かれた。
4. 鎌倉幕府の成立に伴い、質実剛健な武士の気風を象徴する重層的な寺院建築が全国に広まった。

問3　室町時代の14世紀から15世紀にかけて、農民たちが自立性を強め、自衛や灌漑用水の管理を行うために結成した自治的な村の組織を何といいますか。（2018年 福岡県公立入試 類似）

1. 蔵屋敷
2. 口分田
3. 惣（惣村）
4. 座

問4　室町時代に大成された芸能である「能」の背景について述べた文章として、最も適切なものを選んでください。（2017年 佐賀県公立入試 類似）

1. 8代将軍足利義政が、庶民の間で流行していた歌舞伎を武士の教養として取り入れるよう命じたことで確立された。
2. 3代将軍足利義満が観阿弥・世阿弥の親子を保護し、幕府の儀式に採用されるなどの支援を行ったことで大成された。
3. 日明貿易（勘合貿易）によって明から伝来した仮面劇が、日本の伝統的な神楽と結びついて成立した。
4. 江戸時代の身分制度のもとで、武士のみが鑑賞を許される格調高い芸術として、幕府の直轄地で独自に発展した。

問5　15世紀から16世紀にかけて、琉球王国は東アジアや東南アジアを結ぶ海上交通の要所として繁栄しました。この時期の琉球が行った、他国から輸入した産物を加工せずにそのまま別の国へ輸出することで利益を得る貿易形態を何といいますか。（2019年 広島県公立入試 類似）

1. 朝貢貿易
2. 勘合貿易
3. 南蛮貿易
4. 中継貿易

問6　室町幕府の組織において、将軍を補佐して幕政全体を統括した最高の役職を何といいますか。足利氏の一族である細川・斯波・畠山の三氏といった、有力な守護大名から交代で選ばれた役職名を答えなさい。（2026年 岡山県公立入試 類似）

1. 老中
2. 執権
3. 大老
4. 管領

問7　足利義満によって始められた日明貿易で、「勘合」と呼ばれる札が用いられた理由として、当時の時代背景をふまえた最も適切な説明はどれですか。（2015年 佐賀県公立入試 類似）

1. 東アジアの海域で活動していた倭寇と、正規の貿易船を区別するため
2. 元寇による被害に対する賠償金の支払いを、明側に証明させるため
3. 有力な守護大名が独自に行っていた私貿易を、幕府が完全に管理・独占するため
4. キリスト教の布教を目的とする宣教師の密航を阻止するため

問8　室町時代の文化において、雪舟によって日本独自の水墨画が確立されるに至った背景として、最も適切な説明はどれか答えなさい。（2021年 高知県公立入試 類似）

1. 遣唐使の廃止によって国風文化が発達し、日本独自の色彩豊かな絵画様式が求められたこと
2. 江戸幕府の文教政策によって、町人の間でも手軽に楽しめる多色刷りの版画が流行したこと
3. 南蛮貿易によってヨーロッパの油彩画の技術が伝わり、遠近法を用いた写実的な表現が広まったこと
4. 幕府による勘合貿易を通じて禅僧が明に渡り、現地の高度な芸術技法を直接学ぶ環境があったこと

問9　室町時代の文化の特色について、特に慈照寺（銀閣）にある「東求堂同仁斎」に代表される建築様式とその背景を説明した文として、最も適切なものはどれか。（2019年 埼玉県公立入試 類似）

1. 貴族の住居様式である寝殿造を簡略化し、外観に金箔を貼ることで、武士の権力と浄土への憧れを視覚的に表現した。
2. 宋から伝わった大仏様という力強い建築様式が採用され、民衆の力強さを象徴する巨大な木造建築が各地に建立された。
3. 仏教の無常観に基づき、質素な隠遁生活を好む文人の精神を反映した、壁のない開放的な庵のような建築様式が流行した。
4. 禅宗の影響を受け、畳を敷き詰め、床の間や違棚、ふすま、障子などを設けた書院造が確立され、のちの日本家屋の原型となった。

問10　鏡湖池のほとりに建ち、金箔が施された三層の楼閣で知られる文化遺産が建立された時期の、外交や経済の背景について述べた文として正しいものはどれですか。（2016年 愛知県公立入試 類似）

1. 幕府が明（みん）との間で、倭寇と正式な貿易船を区別するための「勘合」を用いた貿易を開始し、財政を潤した時期にあたる。
2. 日宋貿易によって大量の宋銭が国内に流入し、貨幣経済が全国的に普及し始めた平安時代末期の時期にあたる。
3. 元寇の際の恩賞が不十分だったことから、御家人の生活が困窮し、幕府の権威が急速に衰退していた時期にあたる。
4. 豊臣秀吉による朝鮮出兵が失敗に終わり、東アジアにおける日本の外交的立場が孤立していた時期にあたる。

問11　鎌倉時代から室町時代にかけて、武家政権の支配力が全国へと拡大していく過程を説明した内容として、歴史的事実に基づいた正しいものはどれですか。（2024年 福岡県公立入試 類似）

1. 後鳥羽上皇が隠岐に流される前に南北朝の合体が行われ、それを不服とした守護・地頭が応仁の乱を引き起こして戦国時代が始まった。
2. 承久の乱で後鳥羽上皇が幕府を倒したことで武家政治は一時中断したが、足利尊氏が南北朝の合体を成し遂げて再び武家支配を確立した。
3. 応仁の乱によって幕府の権威が全国に及ぶようになり、守護・地頭が各地の守護大名へと成長して南北朝を合体させた。
4. 源頼朝が守護・地頭を設置して全国支配の基礎を固めた後、承久の乱で後鳥羽上皇を破って六波羅探題を置き、支配を西国まで広げた。

問12　14世紀末から15世紀前半にかけて、日本と明との間で国交が樹立され貿易が始まった時期の対外関係の状況について説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2026年 熊本県公立入試 類似）

1. 南蛮貿易の開始によって海賊の取り締まりが不要になり、倭寇の活動が沈静化した。
2. 明との貿易が全面的に禁止されたため、私的な密貿易を行う倭寇の活動が急増した。
3. 明からの要求を受けて倭寇の取り締まりが進められ、海賊の活動回数が激減した。
4. 朱印状を持った貿易船の増加に伴い、沿岸部での海賊行為がより激しくなった。